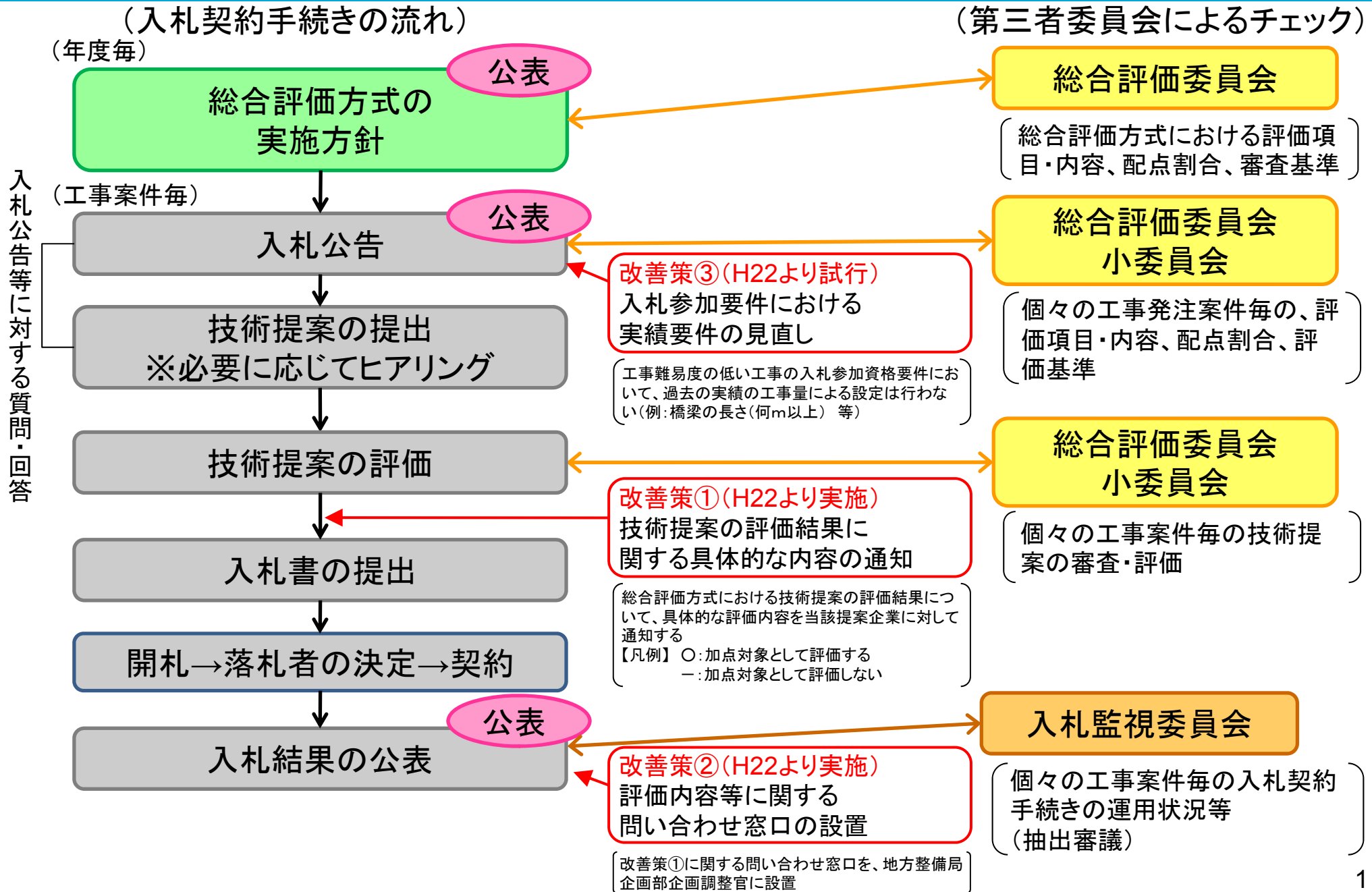


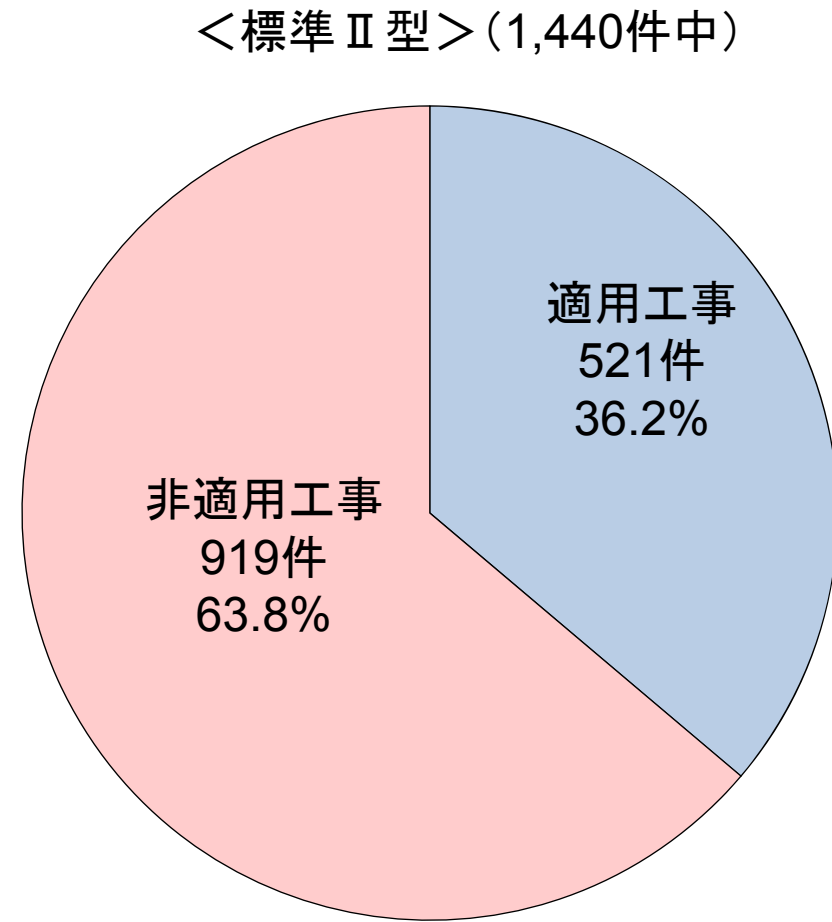
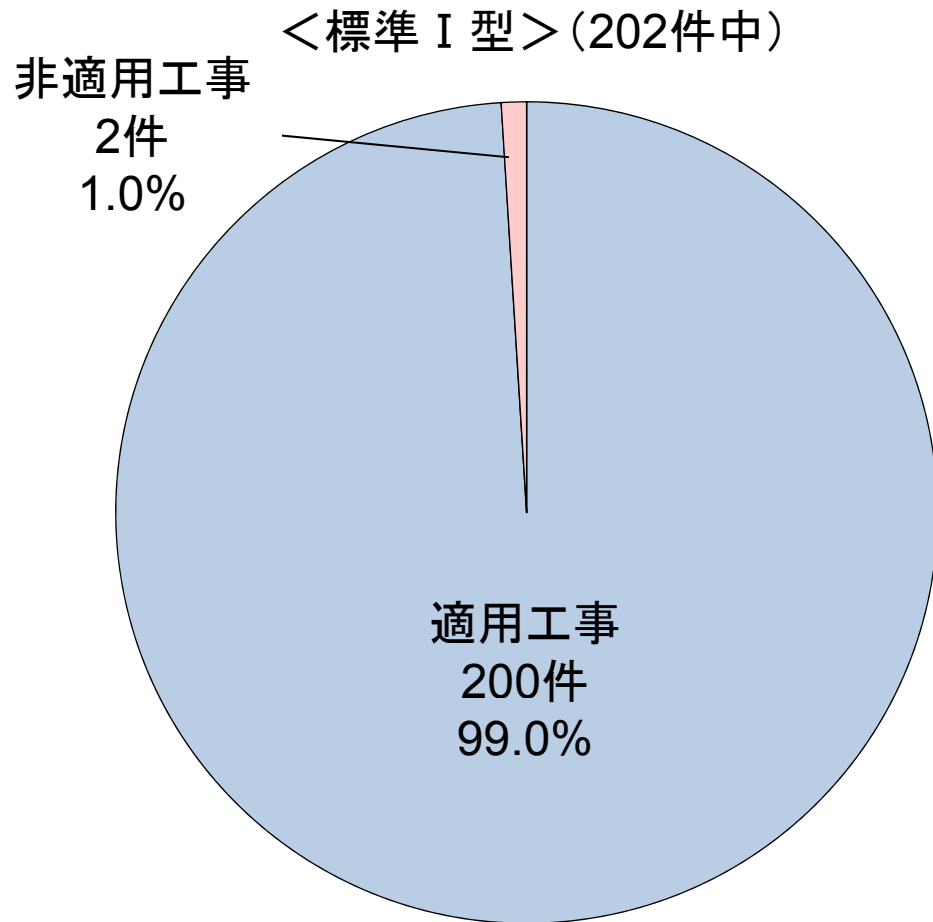
透明性の確保等に関する改善策の 実施状況等について

総合評価方式(工事)における入札契約手続きの透明性の確保に関する取り組み 国土交通省



(1)技術提案の評価結果に関する具体的な内容の通知

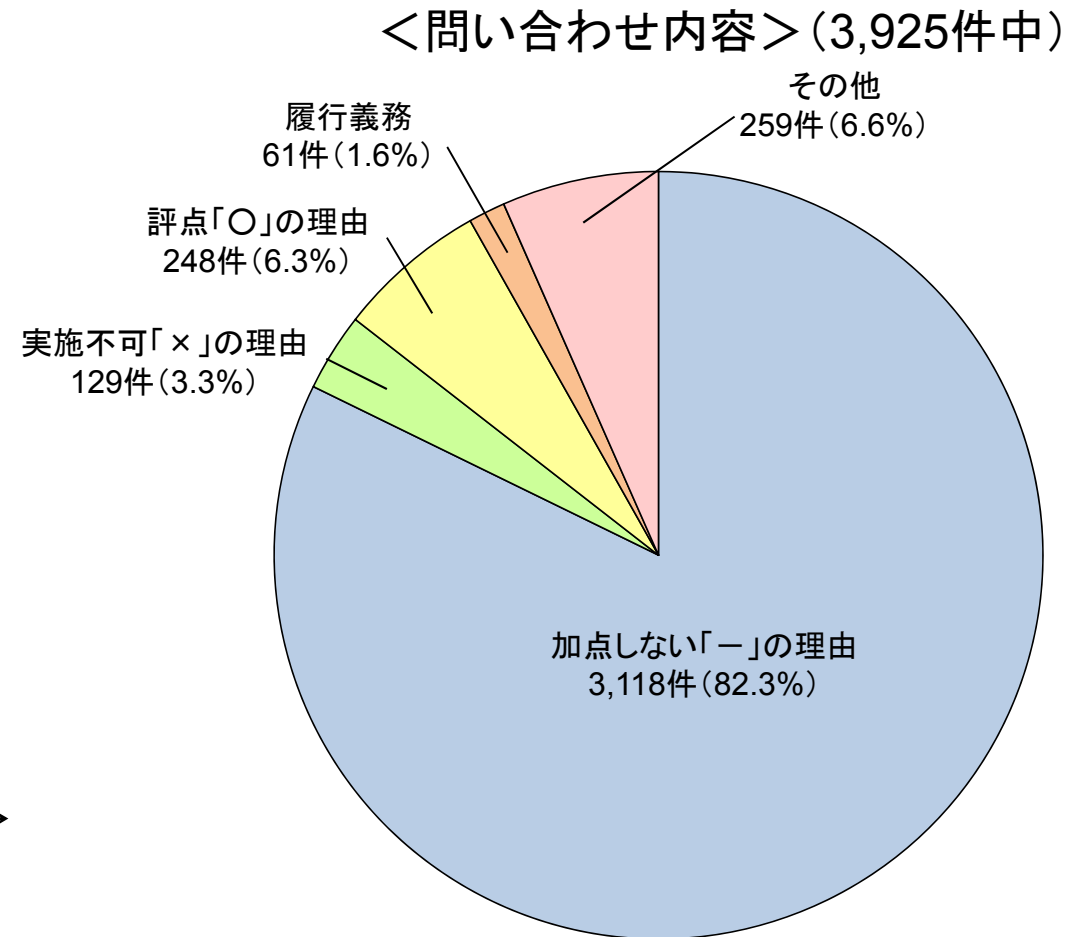
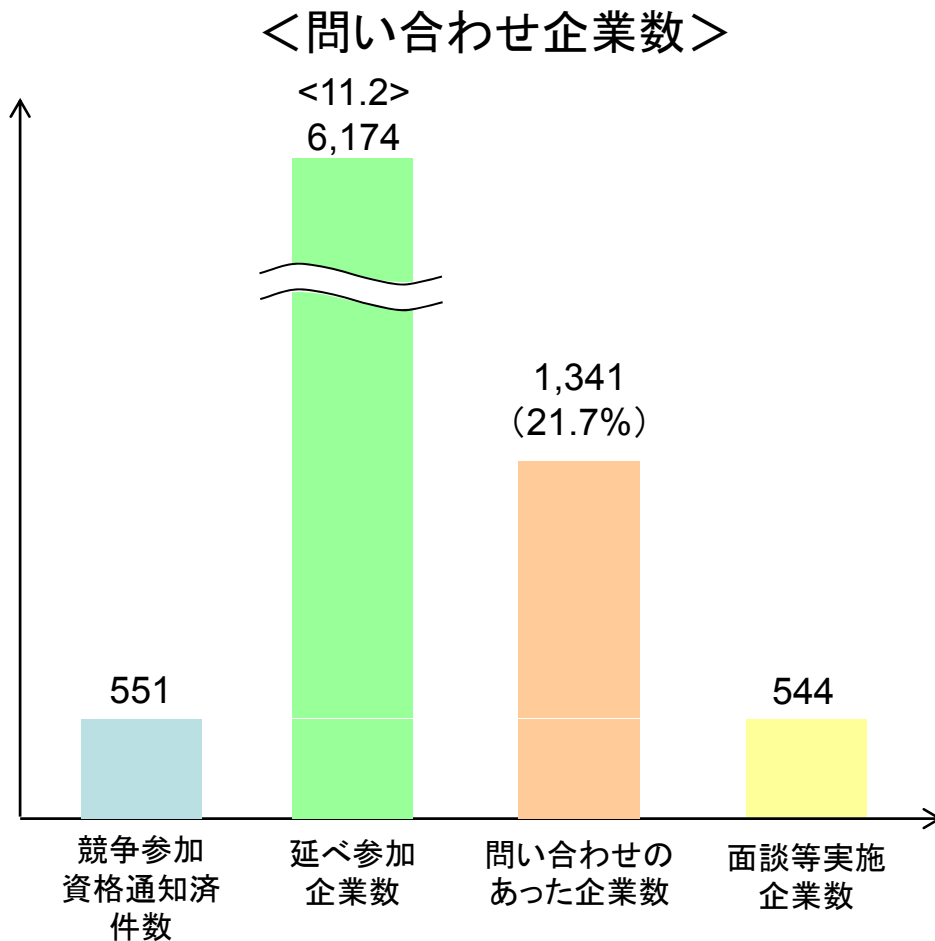
- 標準Ⅰ型については、ほとんどの案件で実施。
- 標準Ⅱ型については、各地方整備局において、順次拡大しているところであり、36.2%の適用状況となっている。



※8地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局において、H22.4.1～H22.12.31に発注手続きを開始した工事が対象（港湾空港関係除く）

(2) 評価内容等に関する問い合わせ窓口の設置

- 問い合わせのあった企業数は1,341社で、延べ参加企業数のうち21.7%となっている。
- 問い合わせの内容は、加点しない「－」の理由が82.3%を占めている。



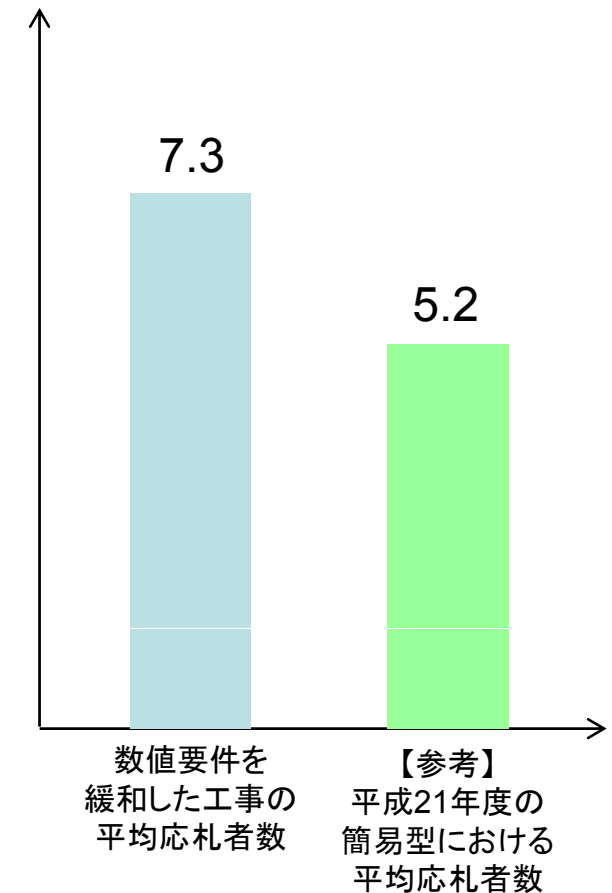
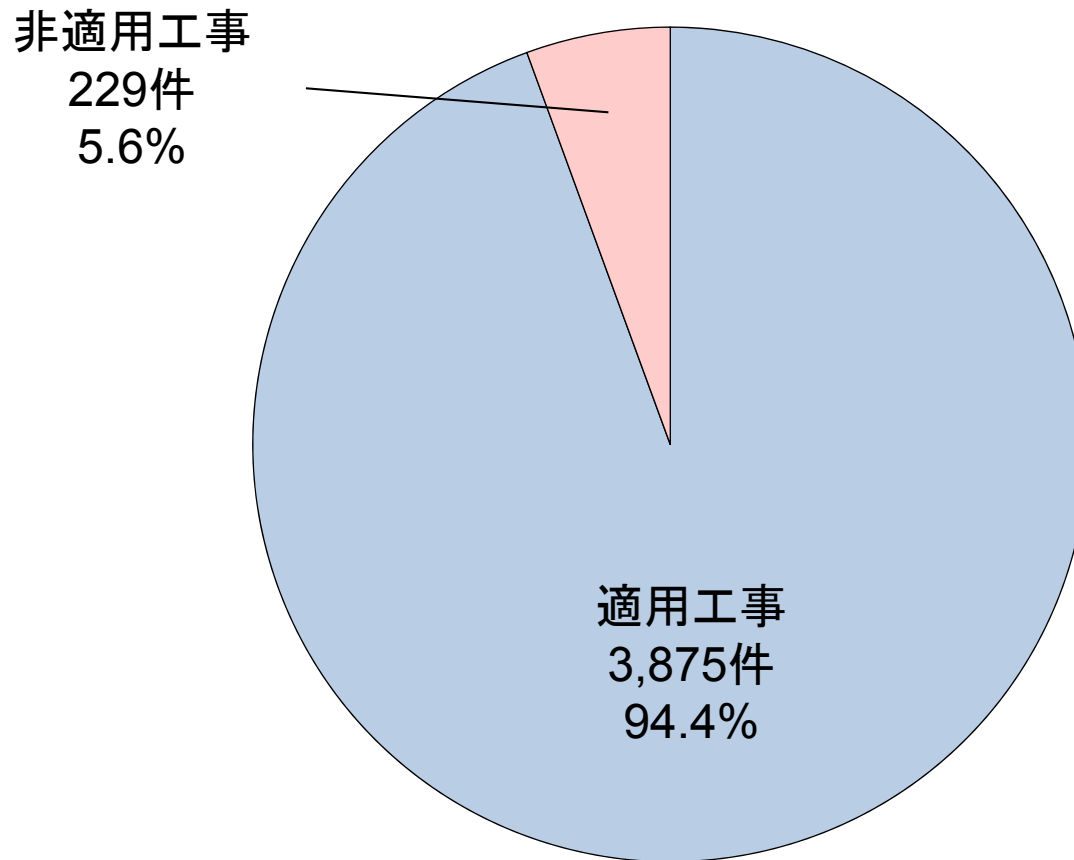
注) <>書は、競争参加資格通知済工事1件当たりの参加企業数
()書きは、延べ参加企業数に対する割合

※8地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局において、H22.4.1～H22.12.31に発注手続きを開始した工事が対象(港湾空港関係除く)

(3)入札参加要件における実績要件の見直し

- ▶簡易型による発注した工事の94.4%で数値要件を緩和している。
- ▶数値要件を緩和した工事の平均応札者数は1件当たり7.3者となっており、平成21年度の簡易型における平均応札者数よりも増加している。

<適用状況> (簡易型4,104件中)



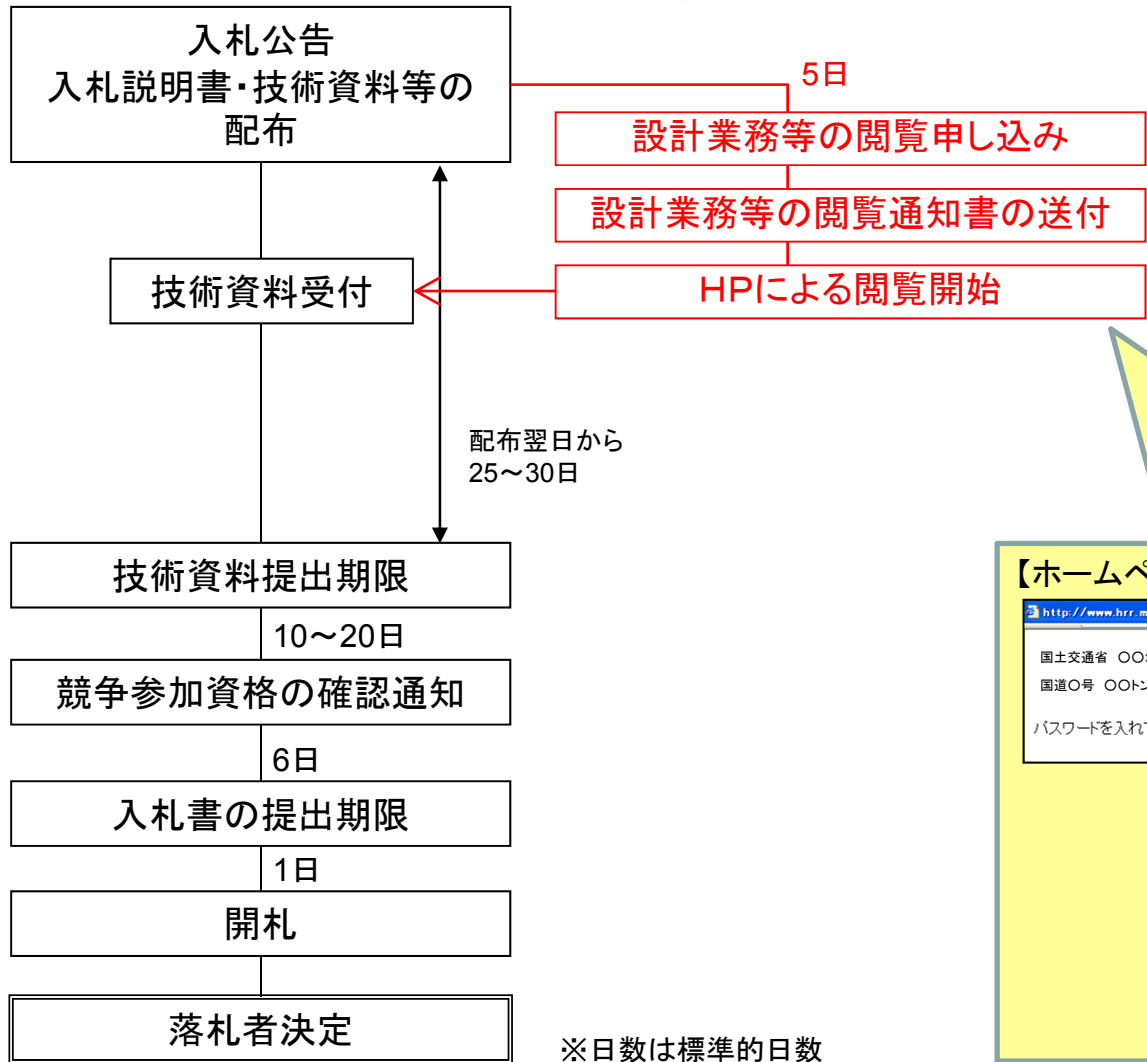
※8地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局において、H22.4.1～H22.12.31に発注手続きを開始した工事が対象(港湾空港関係除く)

(4) 工事関連データの提供について

第1回総合評価方式の活用・改善等による品質確保に関する懇談会(H22.9.13)資料より作成

受注者の技術提案作成のための情報収集に要する時間・事務負担の軽減を図るため、工事関連データの提供について、マニュアル(案)を作成するとともに、HPからのダウンロードやCDでの貸与など**103件の試行**を実施。

○HPからのダウンロードによる提供(例)



※日数は標準的日数

閲覧希望者は、閲覧申込書に必要事項を記載し、持参、郵送、FAXにより提出
※閲覧申込書には、成果品等の業務請負者への問い合わせを行わないこと、目的外利用をしないこと、第三者へ提供しないこと等を遵守するよう明示

発注者より、閲覧できるホームページアドレス及びパスワードを通知

※入札説明書には、閲覧データ、閲覧方法、申込方法、申込期間、閲覧期間等を記載する。

【ホームページ閲覧例】

パスワードを入力後、ダウンロード可能

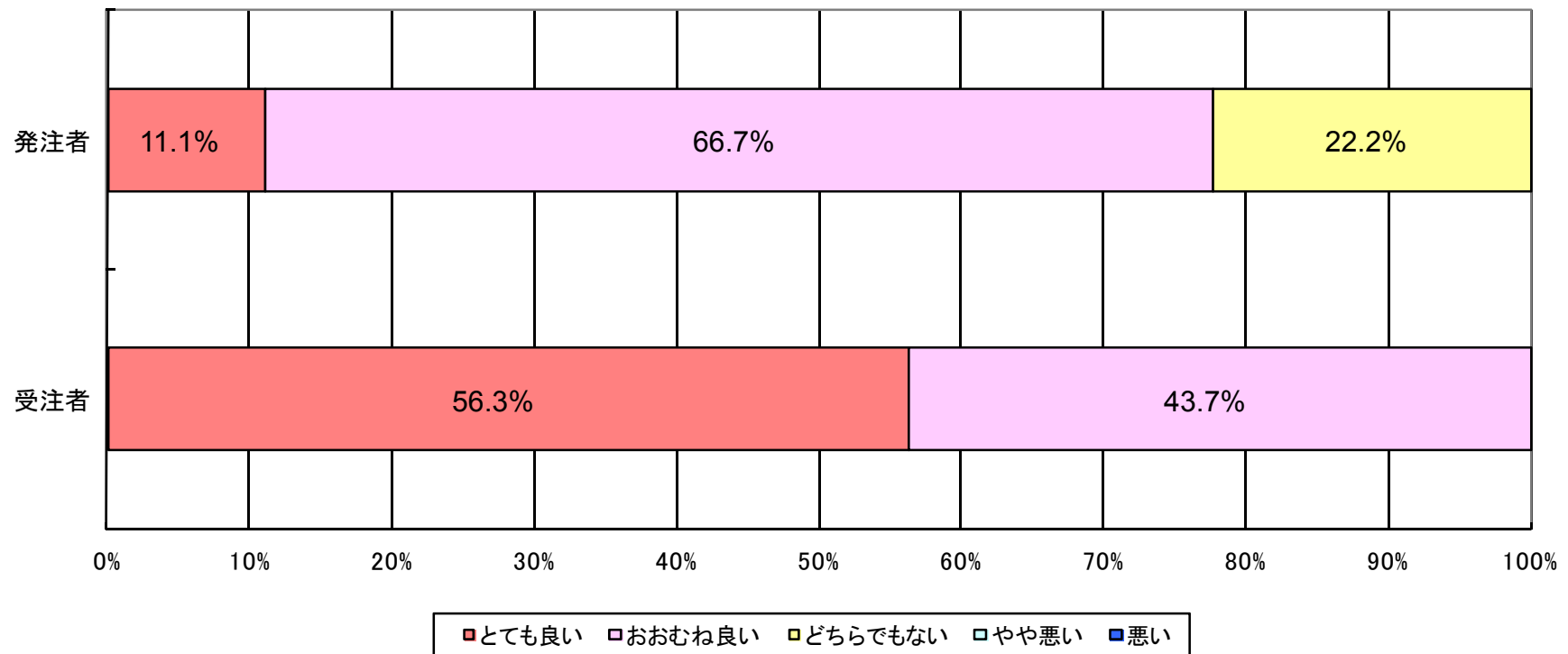
国土交通省 ○○地方整備局 国道○号 ○○トンネル工事の設計業務成果等の閲覧	パスワードを入れてください [.....] [OK]		
国土交通省 ○○地方整備局 国道○号 ○○トンネル工事の設計業務成果ダウンロード	○ 平成11年度 ○○道路地質調査その3作業 [○○トンネル区間] 報告書 ...	[PDF1]	[PDF2] [PDF3] [PDF4]
○ 平成19年度 国道○号 ○○トンネル地質調査 報告書	[PDF]		
○ 平成21年度 H21○○改良構造物設計等業務委託 報告書 ...	[PDF1]	[PDF2]	[PDF3]

(4)工事関連データの提供について

➤ 工事関連データの提供については、受発注者双方より、概ね高い評価を得ている。

● 工事関連データの提供に関する感想

精査中



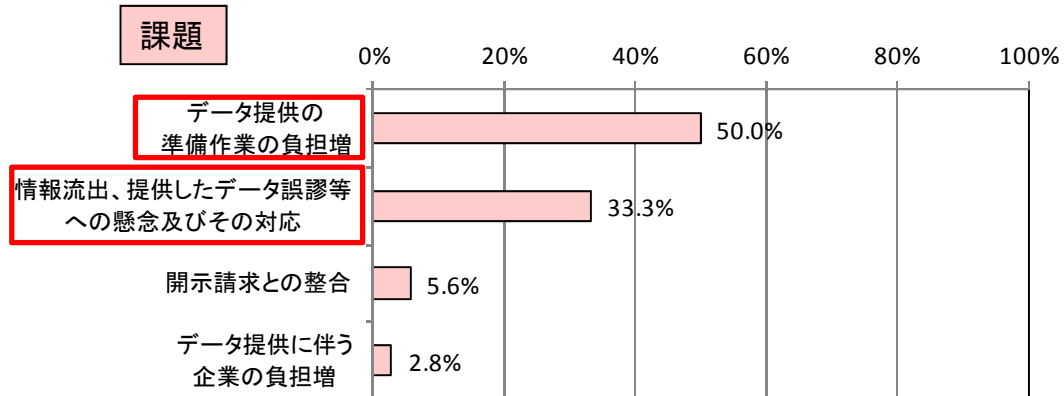
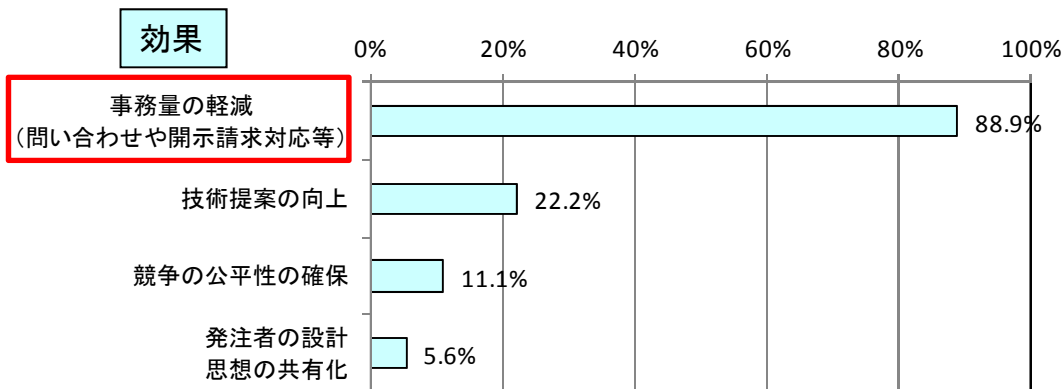
※発注者については、工事関連データの提供を実施した8地方整備局、北海道開発局に対してアンケートを実施。
また、受注者については、各地方整備局毎に集計した意見について、各地方整備局の重みを1として集計している。

(4) 工事関連データの提供について

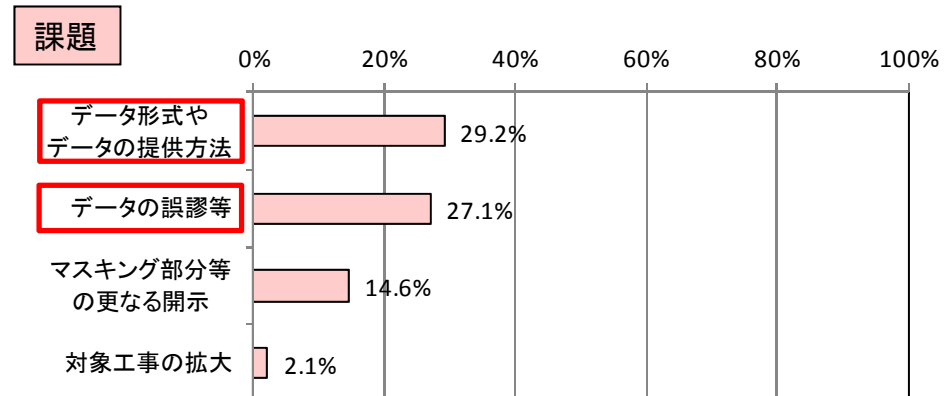
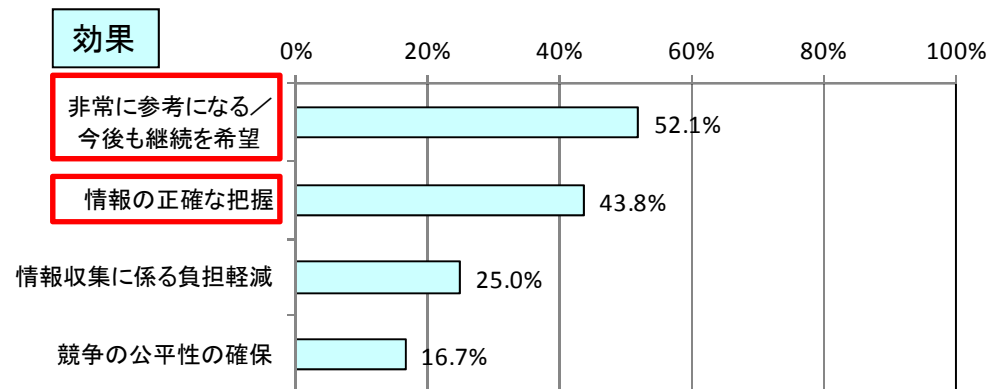
▶ 発注者からは、問い合わせや開示請求対応などの事務量の軽減が効果として挙げられている一方、提供するデータの準備作業に時間を要するなどの課題が挙げられている。
 ▶ 受注者からは、技術提案の作成等に非常に参考になるなどの効果が挙げられている一方、提供されるデータの形式やマスキング部分の更なる開示等が課題として挙げられている。

● 工事関連データの提供に関する効果(良い点)と課題 精査中

< 発注者 >



< 受注者 >



OH23の取り組み方針

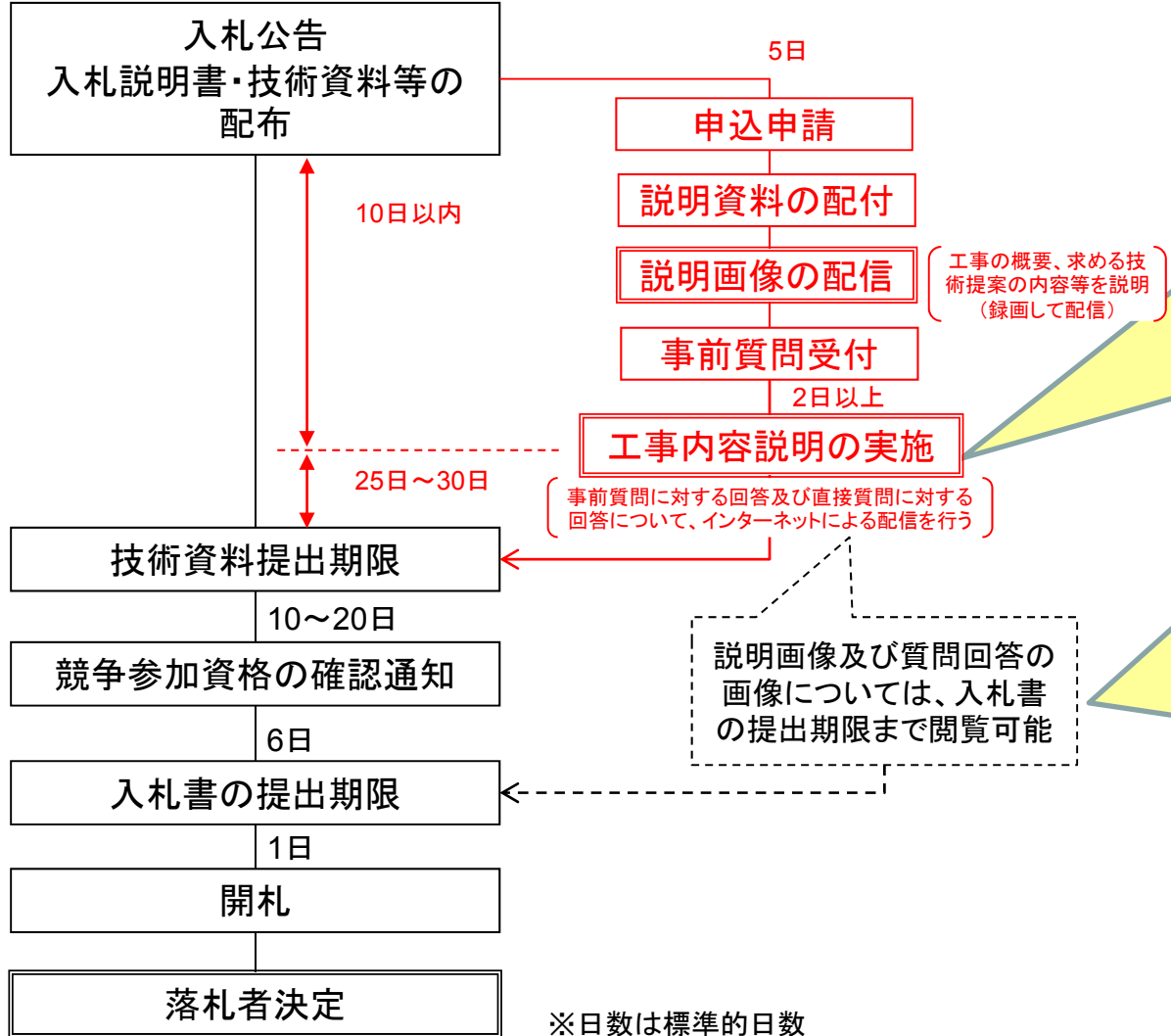
- 発注者からは「事務量の軽減」、受注者からは「非常に参考になる」や「情報の正確な把握」が効果としてあげられており、受発注者双方より、非常に高い評価を得ていることから、件数を増加し、引き続き試行を実施する。
- 改善すべき点として、発注者からは「データ提供の準備作業の負担増」や「情報流出、提供したデータの誤謬等への懸念及びその対応」、受注者からは「データ形式やデータの提供方法」や「データの誤謬等」が挙げられており、今後これらについて改善方策を検討する。

(5) 工事内容を説明する機会の設置について

第1回総合評価方式の活用・改善等による品質確保に関する懇談会(H22.9.13)資料より作成

受発注者間における情報共有を図るため、工事内容を説明する機会の設置に関するマニュアル(案)を作成するとともに、様々な方法により**27件の試行**を実施。

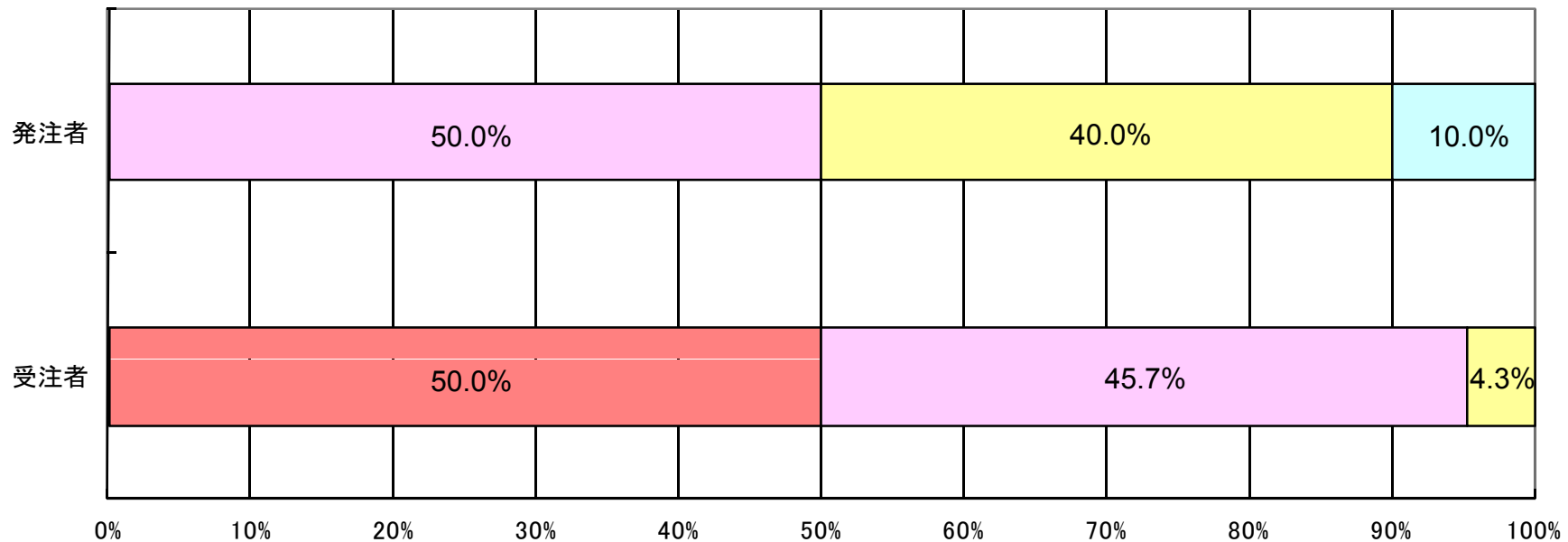
○ITを活用した工事内容を説明する機会の設置(例)



(5) 工事内容を説明する機会の設置について

➤ 工事内容を説明する機会の設置については、特に受注者より、高い評価を得ている。

● 工事内容を説明する機会の設置についての感想 精査中



■ とても良い □ おおむね良い □ どちらでもない □ やや悪い ■ 悪い

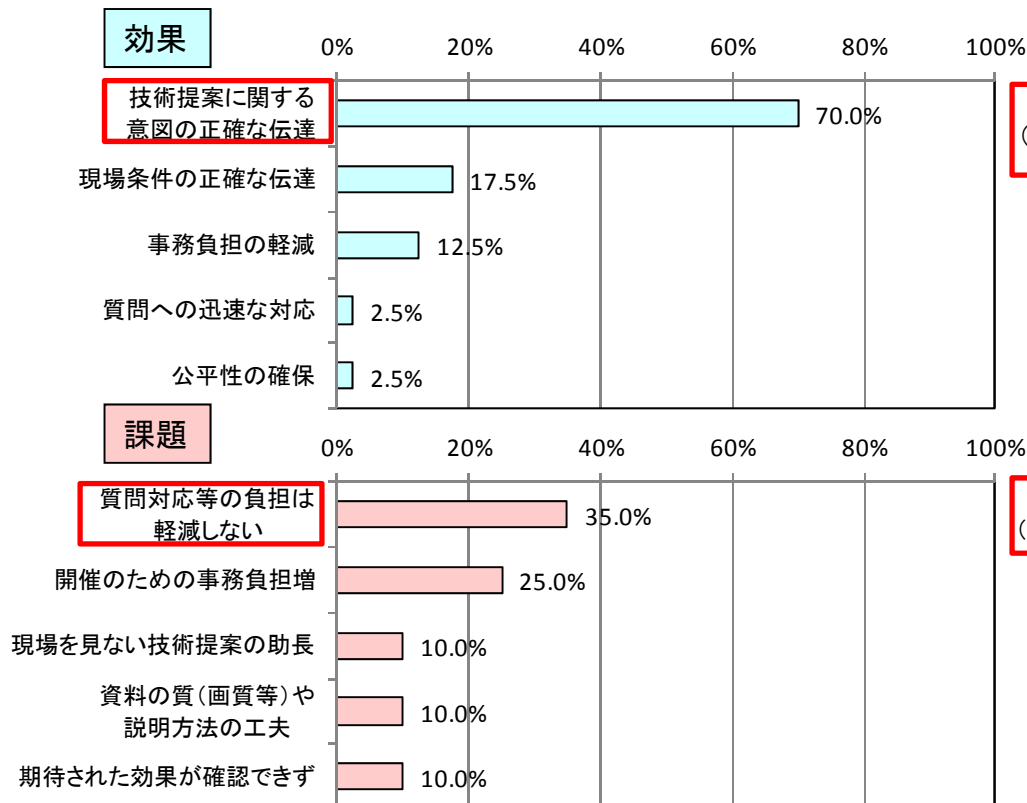
※発注者については、工事内容を説明する機会を設置した8地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局に対してアンケートを実施。
また、受注者については、各地方整備局毎に集計した意見について、各地方整備局の重みを1として集計している。

(5) 工事内容を説明する機会の設置について

- ▶ 発注者からは、発注者の意図を正確に伝えられるなどの効果が挙げられている一方、説明会等の準備に時間がかかるなどの課題が挙げられている。
- ▶ 受注者からは、発注者の意図が理解しやすい等の効果が挙げられている一方、その場で質問(議論)できるようにしてほしいなどの課題が挙げられている。

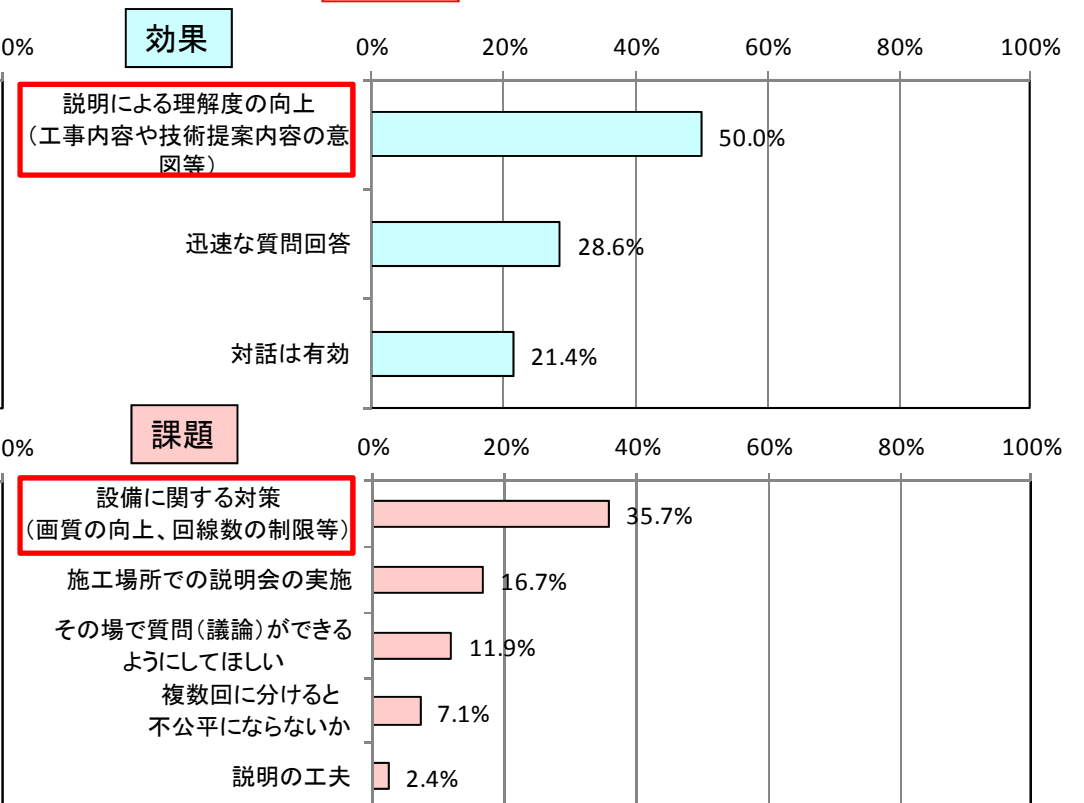
● 工事内容を説明する機会の設置についての効果(良い点)と課題

< 発注者 >



< 受注者 >

集計中



OH23の取り組み方針

- 発注者からは「技術提案に関する意図の正確な伝達」、受注者からは「説明による理解度の向上」が効果としてあげられており、特に受注者より、非常に高い評価を得ていることから、件数を増加し、引き続き試行を実施する。
- 改善すべき点として、発注者からは「質問対応等の負担は軽減しない」、受注者からは画質の向上や回線数の制限など「設備に関する対策」などが挙げられており、今後これらについて改善方策を検討する。